



復興支援道路【宮古盛岡横断道路】

都南川目道路が部分開通します

～高速ネットワークの整備で地域の活性化に寄与～

国土交通省が東日本大震災からの復興に向けてリーディングプロジェクトとして事業を進めて参りました、都南川目道路（延長 6.0 km）の「川目 I C～田の沢 I C間」延長約 2.6 kmが 3月 12日に開通することとなりましたのでお知らせします。

今回の開通により、地域産業の活性化、観光周遊圏の拡大等、沿岸被災地の早期復興に寄与するものと期待されます。

○宮古盛岡横断道路の整備効果

効果 1：物流の効率化を促進し地域産業の活性化を支援

効果 2：救急搬送や医療活動の安定性・迅速性を確保

効果 3：周遊観光圏域を拡大し観光振興に寄与

1. 開通区間：都南川目道路 川目 I C～田の沢 I C（延長約 2.6 km）
2. 開 通 日：平成 28 年 3 月 12 日（土）
3. 開通式典や一般開放等の詳細については後日お知らせします。

※今回開通する区間は無料となります。

※自動車専用道路であり、歩行者、自転車、軽車両、二輪車（125cc 以下）は通行できません。

※道路名称、I C 名称については、平成 28 年 1 月 14 日開催の「岩手県道路交通環境安全推進協議会」にて決定されました。

※国土交通省が事業を代行して整備を行っていますが、開通後の管理は岩手県となります。

<発表記者会：岩手県政記者クラブ、東北専門記者会>

（問い合わせ先）

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

TEL 019-624-3131

副 所 長 きごし よういち 木 越 養 一（内線 205）

工務第二課長 とのさき たかひろ 外 崎 高 広（内線 411）

【管内情報につきましては、当事務所のホームページにてご覧いただけます】

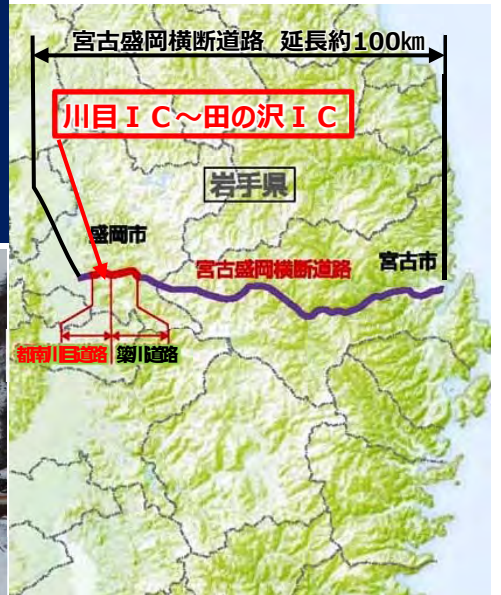
事務所HP <http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/>

モバイル版 <http://keitai.thr.mlit.go.jp/iwate/>

復興支援道路

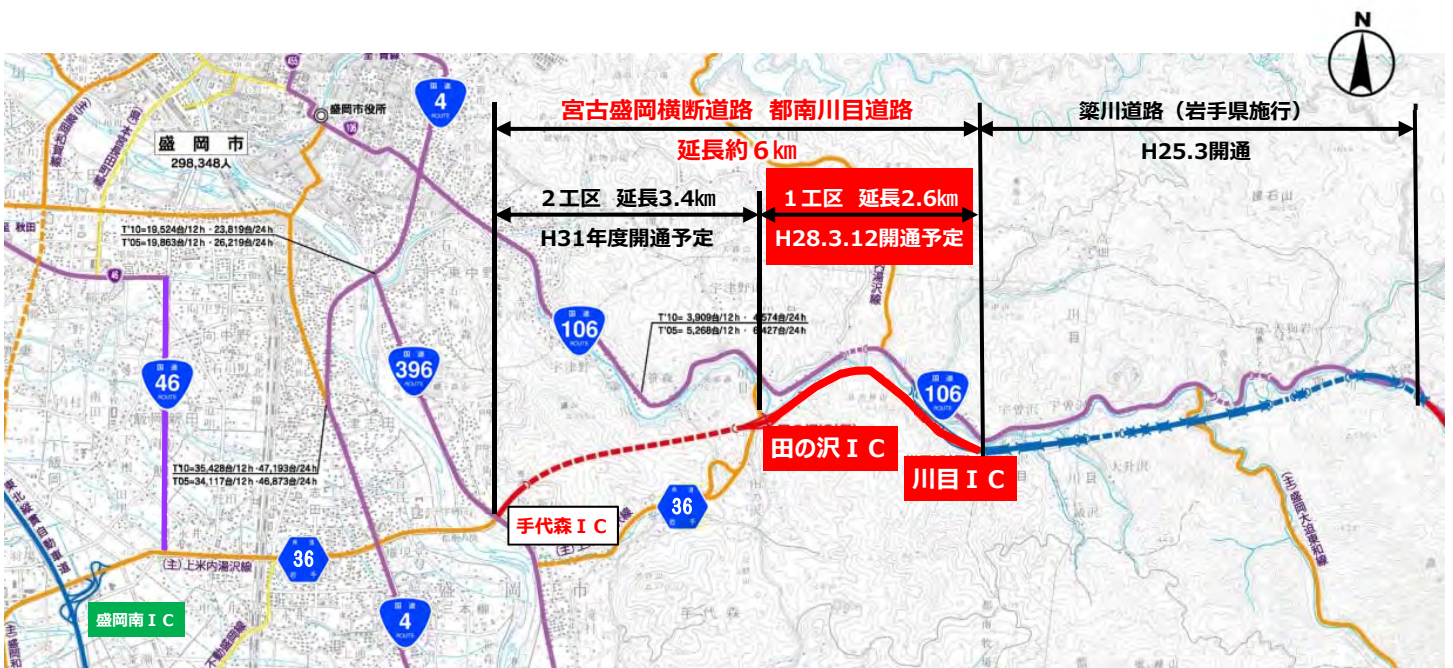
みやこもりおか となんかわめ
宮古盛岡横断道路 都南川目道路

かわめ たのさわ
川目 I C ~ 田の沢 I C (延長約2.6km)



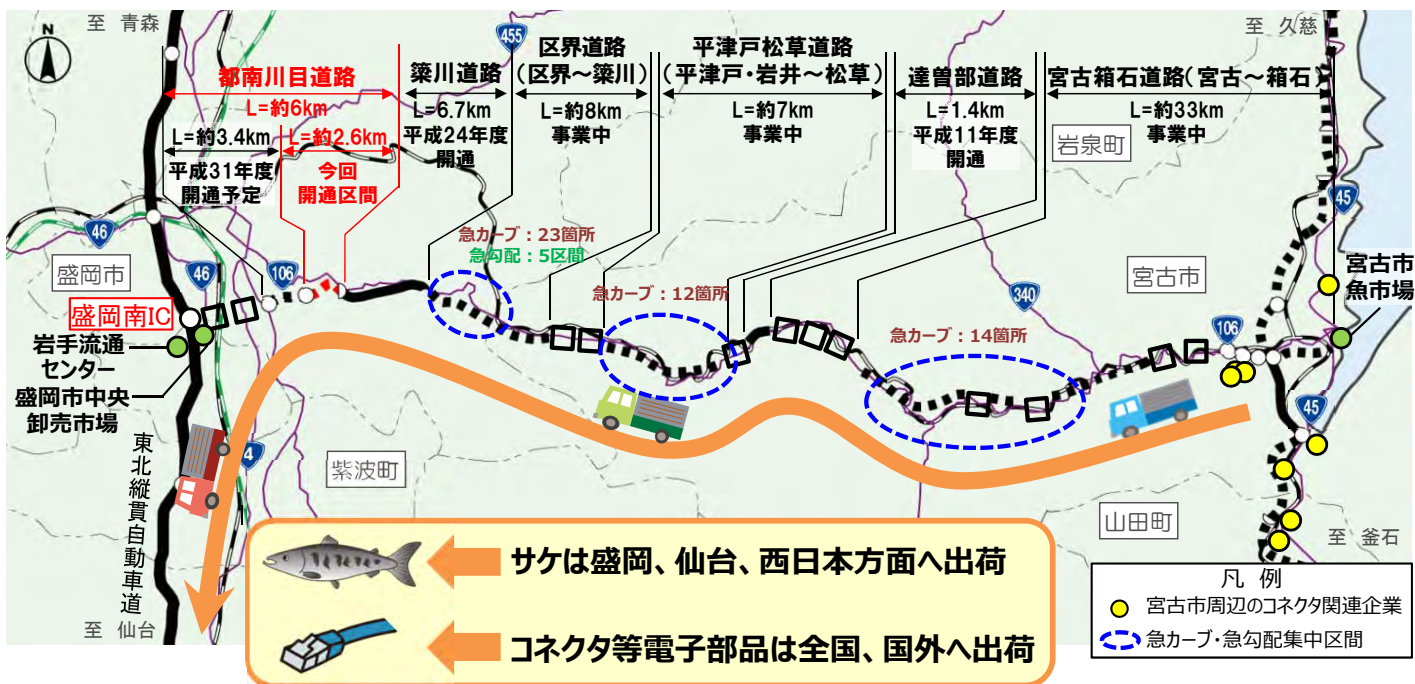
▲川目 I C 付近の施工状況

▲田の沢 I C 付近の施工状況



宮古盛岡横断道路は物流の効率化を促進し地域産業の活性化を支援

- ◆ 宮古市のサケ水揚げ量は本州 1 位。
- ◆ 岩手県のコネクタ等電子部品の出荷額は全国 7 位であり、このうち宮古市は県内の約 4 割を製造。
- ◆ これらは国道106号を利用し各地へ出荷。宮古盛岡横断道路の整備による時間短縮（宮古～盛岡間で約30分短縮）、隘路解消により、海産物の鮮度保持や製造品の品質確保が図られ、地域産業の活性化を支援。



宮古市のサケ漁獲量は**本州 1 位**※
 ※農林水産省 海面漁業生産統計調査（H25）



岩手県のコネクタ出荷額は**全国 7 位**※
 ※経済産業省 工業統計（H25）

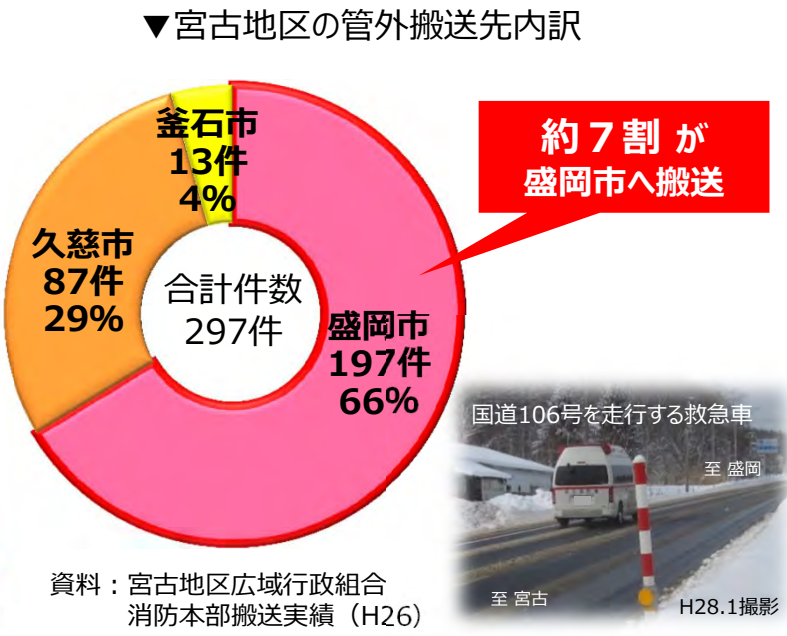
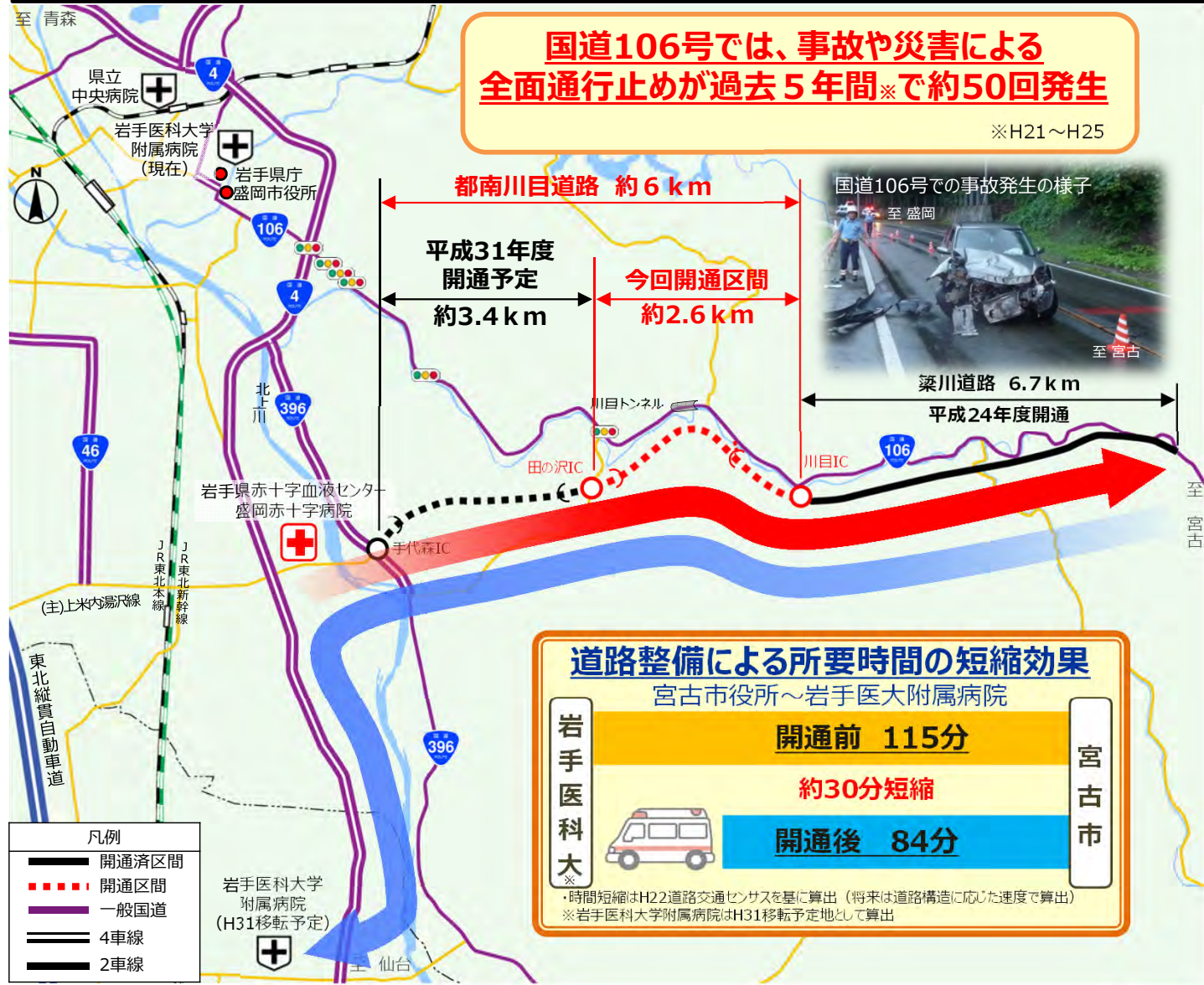
◆ **輸送時間が短縮されれば**、より鮮度が高い状態で届けられるため、より高値で買ってもらえ**売上拡大**に繋がるほか、**販路の拡大が期待**できる。
 （H27.2 水産事業者ヒアリング調査結果）

《コネクタ製造業者の声》

◆ 精密機械であるため、運送中のトラブルでの荷傷みが年に10回以上発生しているが、安定輸送により**荷傷みが発生する頻度の減少**が期待できる。
 （H27.9 コネクタ企業ヒアリング調査結果）

宮古盛岡横断道路は救急搬送や医療活動の迅速性・安定性を確保

- ◆ 救急搬送では宮古地域からの管外搬送のうち約7割が盛岡市の医療施設へ搬送
- ◆ 宮古地域へは盛岡市から国道106号を利用し、1日2便の血液搬送も実施
- ◆ 宮古盛岡横断道路の開通により、時間短縮（宮古～盛岡間で約30分短縮）が図られるほか、事故や災害発生時の代替路も確保され、救急搬送や医療活動の迅速性・安定性を確保



《宮古消防署の声》

- ◆ 宮古から盛岡までどんなに急いでも2時間はかかってしまう。
- ◆ 安定した走行になると、患者負担や運転の負担が少なくなる。

(H26.11 宮古地区広域行政組合消防本部 ヒアリング調査結果)

《血液センターの声》

- ◆ 宮古方面へは事故による通行止めが多く、迂回路がない。
- ◆ 宮古方面への行き来がしやすくなることに期待している。

(H26.9 岩手県赤十字血液センター ヒアリング調査結果)

宮古盛岡横断道路は周遊観光圏域を拡大し観光振興に寄与

- ◆ 宮古盛岡横断道路の整備により盛岡地域と宮古地域は約90分でアクセスが可能
- ◆ 豊富な観光資源を有する地域間のアクセス性向上により、周遊観光圏域が拡大し、観光振興に寄与

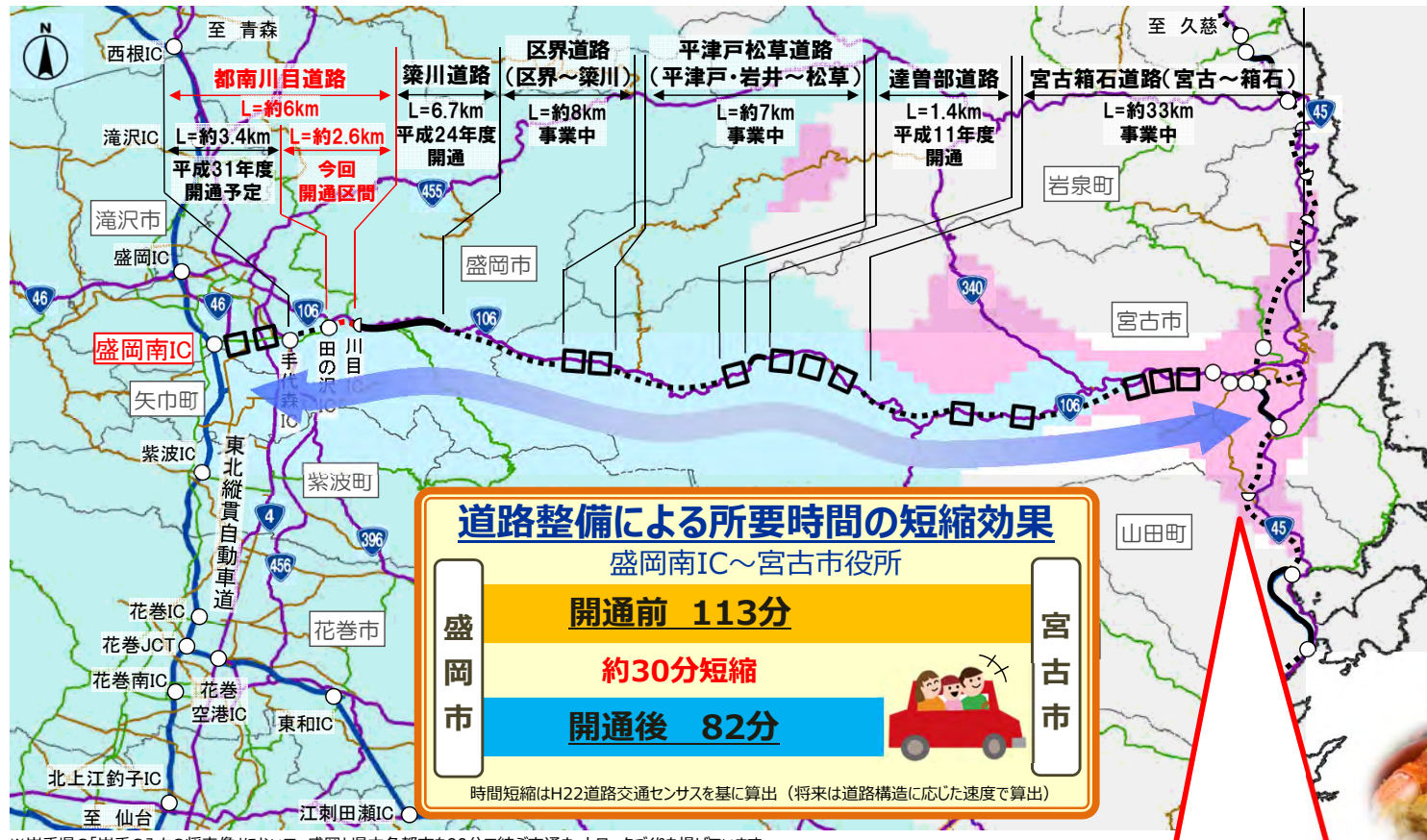
内陸部



沿岸部



▼時間圏域の変化



※岩手県の「岩手のみちの将来像」において、盛岡と県内各都市を90分で結ぶ交通ネットワークづくりを掲げています。

《観光客の声》

- ◆ 宮古などへ観光に行きたいが、移動に時間がかかるのでなかなか行くことができない。（県内在住男性）
 - ◆ 早い時間に観光を切り上げないと、盛岡まで帰れないのに驚いた。せめて夕食をゆっくり食べられる時間ぐらいまで宮古にいられて、盛岡のホテルに帰れたら良い。（東京都からの旅行者）
- （H26.9国道106号利用者リサーチ調査結果、H27.11観光アンケート調査結果）

宮古盛岡横断道路の整備により、盛岡地域と宮古地域は概ね90分でアクセス

現在の
90分
エリア

開通後
90分
エリア

【算出条件】旅行速度：H22道路交通センサス